

光塩女子学院初等科

【理事長】 太田 牧子

【校長】 小坪 洋

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南2-33-28 TEL 03-3315-1911 <http://shotouka.koen-ejh.ed.jp/>
 【交通】 JR中央線高円寺駅、東京メトロ丸の内線東高円寺駅・新高円寺駅

あなたがたは、世の光、
地の塩である

光塩女子学院の教育方針

カトリックの精神に基づき、一人ひとりが世の光、地の塩であることを自覚させる。すなわちローソクが自らは燃えて他を照らし、塩が自らは溶けて味を付けるように、他者のために喜んで生きるよう努力する女性を育てることを教育方針に掲げています。

愛と奉仕の精神を実行する

一人ひとりがかけがえのない大切な存在であることに気づき、自分自身を受け入れ、互いに支え合って生きていくこと。常に感謝の気持ちを持ち、愛と奉仕の精神を日常生活の中で体験し、実行するよう心がけています。

心の通った、きめ細やかな授業

共同担任制、教科担任制・専科制を行っています。2クラスを3または4人の担任が協力し、専科制によって教科内容の充実と教育技術の向上を図り、一人ひとりを大切に、よく知り、きめ細かい指導をしています。

語学 ● 全学年とも週2回、外国人教師による発音を重視した英語の授業を行っています。スペイン語は3・4・5年の希望者を対象に、放課後、課外授業として週1回行っています。

日記指導 ● 1年生から日記指導を行うことで、文章表現の心と技術だけでなく、児童と教師の心の交流の場として生活指導にも役立っています。

学校行事 ● 長野県四阿高原の光塩山荘で4・5年が学年ごとに、7月に一泊二日と二泊三日、人と自然への愛と理解を深めるため共同生活を行います。また、小・中・高合同の親睦会（ハザー）などにより、和やかな雰囲気の中で総合学園としての奉仕と一致の精神を強めています。

上級学校に進むには

一貫教育を原則としているので、成績等が基準に達した児童は、中等科には優先的に進学できます。

学院の創立者 マドレ・マルガリタ

学院の設立母体は、スペインを発祥の地とし、世界の各地に広がるカトリック、メルセス宣教修道女会です。この会の歴史は古く、13世紀ペトロ・ノラスコによって創立され、今世紀にマドレ・マルガリタ修道女によって、宣教会に改められました。

つねに、社会の必要に対応して貢献するための活動を続けてきましたが、光塩女子学院は日本における活動の場として、高円寺の地に設立されたものです。

設立当時は、5年制の高等女学校でしたが、変遷を経た後、初等科と中等科、高等科となりました。



沿革

1931（昭和6）年、光塩高等女学校開校。
 1947（昭和22）年、学制改革により光塩女子学院と改称、高等科と中等科、初等科、幼稚園を置く。その後、山口県に姉妹校として萩光塩学院、広島県廿日市市に聖母マリア幼稚園、東京に日野幼稚園などを開設する。

2016年度募集要項

募集人員：女子 80 人
 出願期間：10月1日（木）～10月5日（月）（必着）
 受験料：23,000 円
 試験日：11月4日（水）児童テスト
 11月5日（木）保護者同伴面接
 合格発表：11月6日（金）
【かかる費用（2015年度参考）】
 入学金：300,000 円
 施設設備資金：60,000 円
 授業料：38,000 円（月額）
 教育充実費：11,000 円（月額）
 初年度納入金：948,000 円
 他に、学校債（任意）：1口 50,000 円（2口以上）など

併設中学進学状況

◆ 光塩女子学院中等科（女子 70 人）

データパック

◆ 児童数 487 人／教員数 35 人
 ◆ 15 年度応募者数：女子 285 人
 ◆ 合格者数：女子 80 人（光塩女子学院幼稚園、光塩女子学院日野幼稚園からの内部進学者を含む）

【併設校】

○ 光塩女子学院幼稚園
 ○ 光塩女子学院日野幼稚園
 ○ 光塩女子学院中等科・高等科